

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

福井市長 西行 茂

市町村名 (市町村コード)	福井市 (18201)
地域名 (地域内農業集落名)	東藤島地区(林、藤島、泉田、中ノ郷、橋合、島橋、玄正島)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年7月 (第 2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

【農業者】林、藤島、泉田、橋合、島橋、玄正島では、集落内外の認定農業者(法人、個人)や集落営農組織が主に担う。
【主要作物】水稲、そば、その他野菜の栽培を行っている。
【その他】 農業者の高齢化が進んできており、後継者の確保が課題となっている。
藤島:共同経営グループを中心に、農業用機械の共同利用など、農作業の協業化を図っている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

【将来の農業者】中ノ郷では、市外の認定農業者(法人)を受け入れる。林、藤島、泉田、橋合、島橋、玄正島では、集落内外の認定農業者(法人、個人)や集落営農組織が主に担っていく。
【将来の主要作物】藤島:麦、泉田:地域の特産品目(そば)、景観植物の栽培を行っていく。
【その他】水稲と転作作物を組み合わせた効率的で生産性の高い農業を実現するとともに、付加価値を高め有利販売を図る。特別栽培米の作付を継続する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	137.5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	126.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	10.6 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地、その他の区域については農業を担う者の位置づけのある農地を区域内とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
できる限り現状を維持しつつ、耕作が困難な農地が出た際には、地域の担い手を中心に集積していく。耕作者の作業効率に配慮しながら、できる限り農地を集約化していく。担い手の不足により集積・集約が難しい状況もあるため、担い手の確保についても検討が必要。
(2)農地中間管理機構の活用方針
集落全体で農地中間管理機構を利用することは考えておらず、必要があれば個人ごとに利用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
現時点で基盤整備事業の活用は考えていないが、用水路の水漏れがあるため、全面改修(敷投替)を用水土地改良区と連携し、松岡地籍より令和6年度より数年かけて実施予定である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落外から担い手を確保し、農地の管理を委託していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
林、橋合、島橋：活用できないか検討していく。藤島：農薬散布を委託している。また、一部の農地では田植えや収穫も委託している。泉田：農薬散布を委託しているが、今後田植えや収穫の委託を検討していく。中ノ郷：活用しない。玄正島：草刈り、田植え、収穫、農薬散布を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="radio"/> ①鳥獣被害防止対策	-	<input type="radio"/> ②有機・減農薬・減肥料	-	<input type="radio"/> ③スマート農業	-	<input type="radio"/> ④輸出	-	<input type="radio"/> ⑤果樹等
-	<input type="radio"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="radio"/> ⑦保全・管理等	-	<input type="radio"/> ⑧農業用施設	-	<input type="radio"/> ⑨耕畜連携	<input type="radio"/> ⑩その他	

【選択した上記の取組方針】

①中ノ郷：電気柵等の対策を実施している。玄正島：今後電気柵等の対策を実施していく。その他：被害が少ないため対策は必要ない。⑦泉田：景観植物の栽培を行っていく。島橋：家庭菜園を行っていく。玄正島：保全・管理を行っていく。(林、藤島、泉田、中ノ郷、玄正島)：多面的機能支払交付金を活用し、畦畔の草刈、用排水路補修、空き缶拾い等を実施する。シバザクラ等の地被植物の植栽又は防草シートなどを活用して、畦畔の草刈り作業の労働力を軽減していく。組織を連携して、大規模な用排水路の改修事業を実施したい。⑩林：花、野菜等を直売所への出荷していく。その他：直売所を活用した地産地消に取り組み、高齢者が生きがいを持って営農していく。

4 変更申請経歴

・農業を担う者の追加 1名、2筆 農業用施設建設による農地面積の修正 1筆(R7.7月)